



12 本と 24 本のドライブを設置してセットアップします E-Series storage systems

NetApp
March 12, 2026

目次

12 本と 24 本のドライブを設置してセットアップします	1
設置の準備- E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、DE212C、DE224C	1
ハードウェアの設置- E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、DE212C、DE224C	4
電源ケーブルの接続- E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、DE212C、およびDE224C	7
ストレージシステムのセットアップと設定の完了- E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、 DE212C、DE224C	9
手順 1：データホストをケーブル接続します	10
手順 2：管理接続を接続して設定します	11
手順 3：ストレージシステムを設定する	15

12本と24本のドライブを設置してセットアップします

設置の準備- E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、DE212C、DE224C

E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、またはDE212C / DE224C シリーズストレージシステム。

手順

1. アカウントを作成し、でハードウェアを登録します "[ネットアップサポート](#)"。
2. 次のものが同梱されていることを確認してください。



ドライブが取り付けられたシェルフ（ベゼルは別に梱包）



ラックマウントハードウェア

次の表に、同梱されているケーブルの種類を示します。表に記載されていないケーブルがある場合は、を参照してください "[Hardware Universe](#)" ケーブルの場所を確認し、用途を特定します。

コネクタのタイプ	ケーブルのタイプ	使用
	イーサネットケーブル (発注した場合)	管理接続
	I/O ケーブル (発注した場合)	データホストのケーブル接続
	電源ケーブル (発注した場合)	ストレージシステムの電源
	SAS ケーブルはドライブシェル フにのみ付属しています	SAS ケーブル

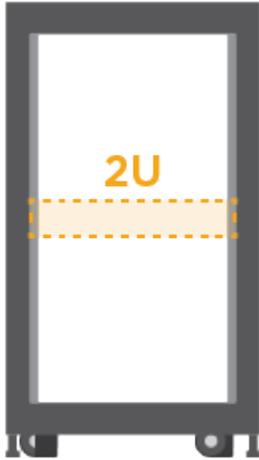
3. 次のものを用意します。


No.2 プラスドライバ

懐中電灯



静電気防止用ストラップ



2U ラックスペース：48.3cm の標準搭載。48.30cm（19 インチ）ラック

- 深さ * : 19.0 インチ（48.3 cm）
- 幅 * : 17.6 インチ（44.7 cm）
- 高さ * : 3.34 インチ（8.48 cm）
- シェルフ * : 24 ドライブ
- 最大重量 * : 27.4kg（60.5 ポンド）



管理ソフトウェアでサポートされているブラウザ：

- Google Chrome (バージョン89以降)
- Microsoft Edge (バージョン90以降)
- Mozilla Firefox (バージョン80以降)
- Safari (バージョン14以降)

ハードウェアの設置- E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、DE212C、DE224C

E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、または DE212C または DE224C のストレージシステムを 2 ポストラックまたはネットアップシステムキャビネットに搭載

作業を開始する前に

次の作業を行ってください。

- ハードウェアを登録します ["ネットアップサポート"](#)。
- 静電気防止処置を施した平らな作業場所を準備します。
- ESD リストバンドを装着し、静電気防止処置を施します。

以下の手順に進む前に、すべての手順を確認してください。

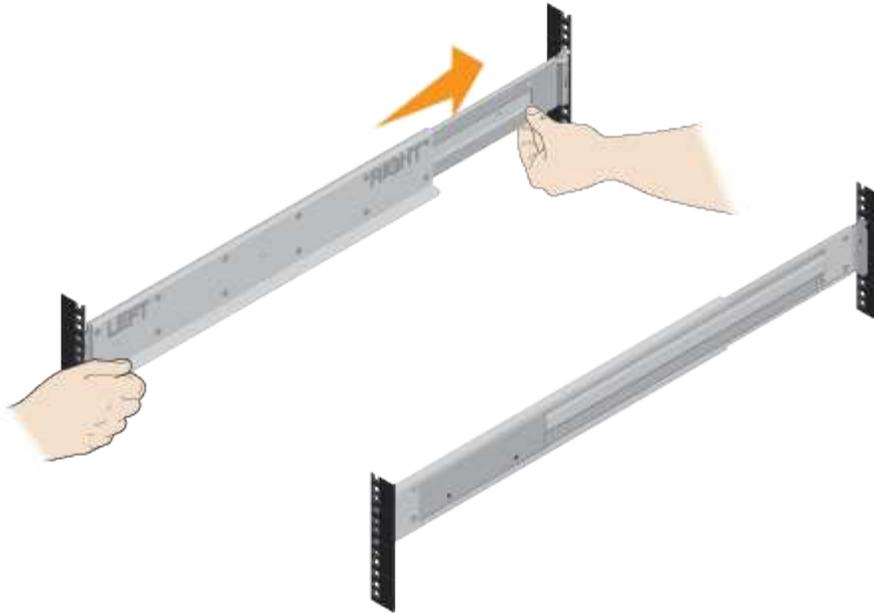
手順

1. ハードウェアの中身を開封し、納品書と照合して確認します。
2. レールを取り付けます。

ラックマウントハードウェアに手順書が付属している場合は、記載されているレールの取り付け方法を参照してください。ラックへの取り付け手順の詳細については、[を参照してください"ラックマウントハードウェア"](#)。



転倒を防ぐために、ラックまたはキャビネットの下から順にハードウェアを設置してください。

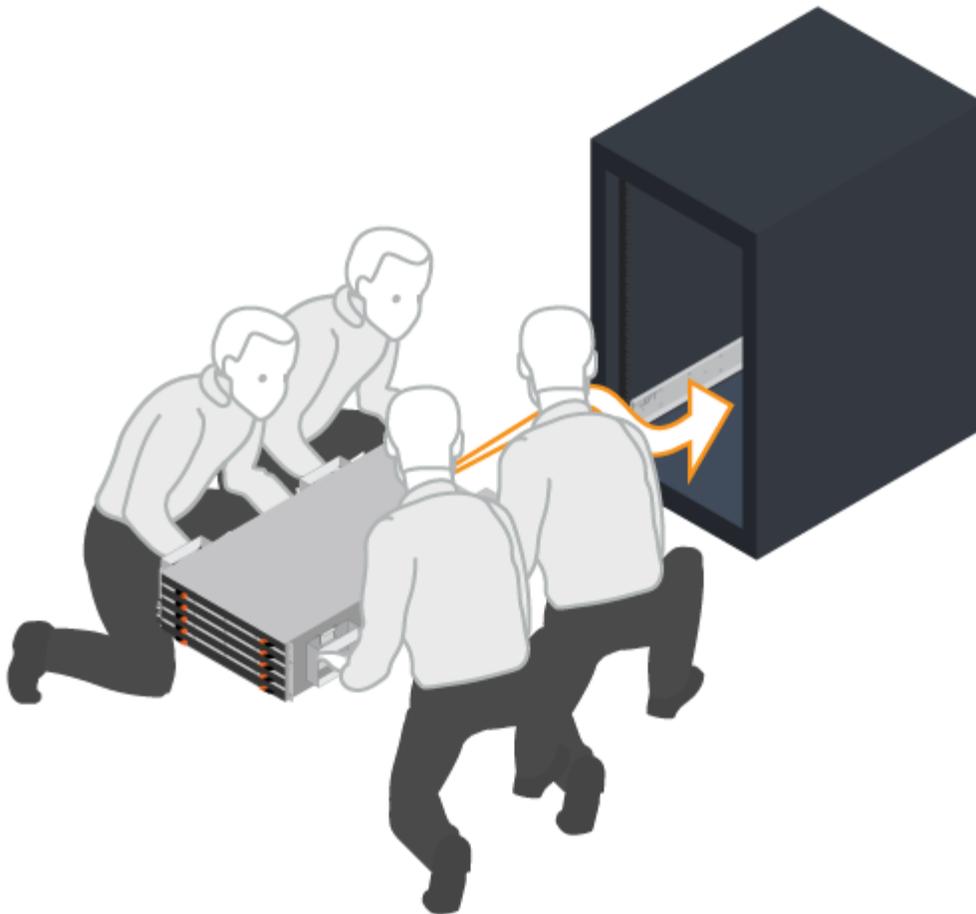


3. シェルフを設置します。



ドライブがすべて取り付けられた状態の各シェルフの重量は、29kg（64ポンド）です。シェルフを安全に移動するには、2名で運搬するリフト機を使用してください。

- a. キャビネットの底部に取り付けるシェルフから始めて、シェルフの背面（コネクタ側）をレールに取り付けます。
- b. シェルフを下から支えながら、キャビネットにスライドさせま

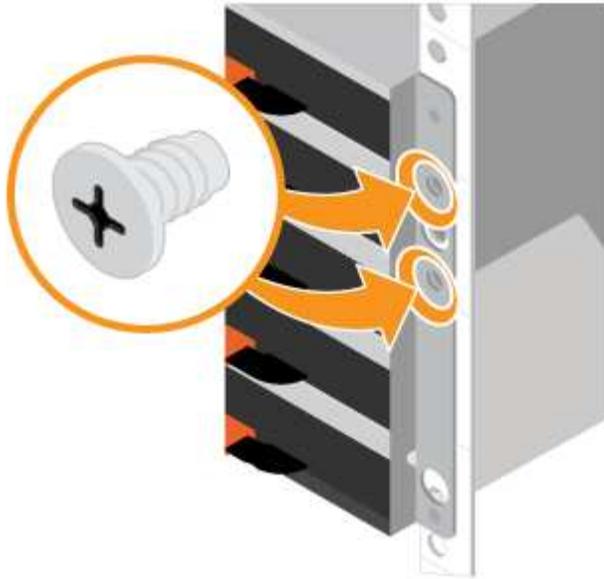


す。

4. シェルフを固定します。

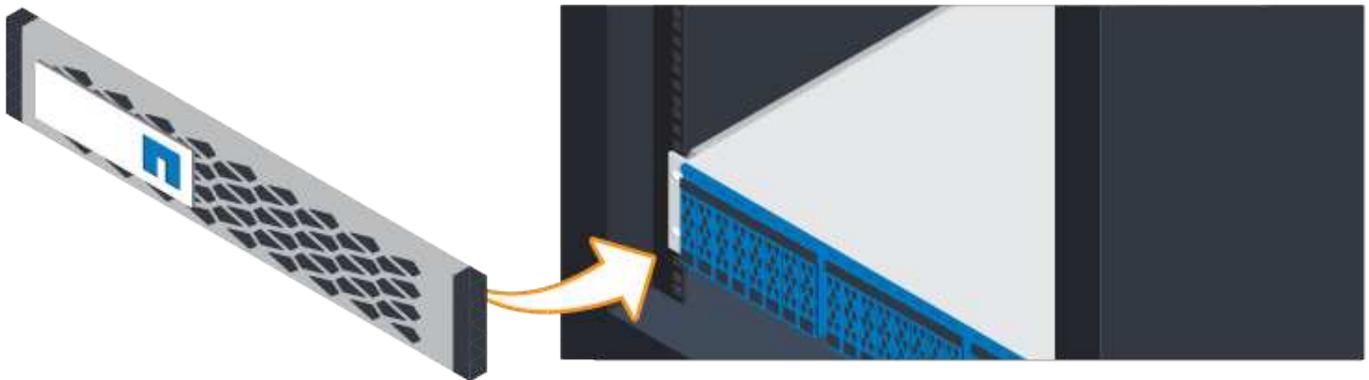
の指示に従って、シェルフをラックに固定します **"ラックマウントハードウェア"**。

- a. シェルフの両側の上部から 1 番目と 3 番目の穴にネジを差し込み、キャビネットの前面に固定します。
- b. シェルフの背面上部の両側に 2 つの後部ブラケットを配置します。各ブラケットの 1 番目と 3 番目の穴にネジを差し込み、キャビネットの背面を固定します。



5. ベゼルまたはエンドキャップを取り付けます。

- a. 各端の穴がコントローラシェルフの固定具と揃うように、前面ベゼルをコントローラシェルフの前面に配置します。
- b. ベゼルを所定の位置にはめ込みます。
- c. オプションのドライブシェルフがある場合は、エンドキャップの穴がシェルフの左側にあるファスナーに揃うように、左側のエンドキャップをドライブシェルフの前面に配置します。
- d. エンドキャップを所定の位置にはめ込みます。
- e. 右側のエンドキャップについて、上記の手順を繰り返します。



電源ケーブルの接続- E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、DE212C、およびDE224C

電源ケーブルを接続してドライブシェルフの電源をオンにする方法について説明します。

作業を開始する前に

- ハードウェアを設置
- 静電気防止処置を施します。

この手順は、IOM12、IOM12B、および IOM12C ドライブ シェルフに適用されます。



IOM12C モジュールは、SANtricity OS 11.90R3 以降でのみサポートされます。IOM12Cをインストールまたはアップグレードする前に、コントローラのファームウェアが更新されていることを確認してください。



この手順は、シェルフの IOM のホットスワップや交換に使用されます。つまり、IOM12 モジュールを別の IOM12 モジュールに交換するか、IOM12C モジュールを別の IOM12C モジュールに交換しなければなりません。（シェルフに IOM12 モジュールを 2 台搭載することも、IOM12C モジュールを 2 つ使用することもできます）

手順

1. シェルフをケーブル接続

構成に応じてシステムをケーブル接続します。



以下の例よりも多くのケーブルオプションが必要な場合は、"[ケーブル配線](#)"。

次のケーブルが必要です。



- SAS ケーブル *

a. 例A: 標準SAS構成の3つのDE212C/DE224ディスクシェルフを備えたコントローラシェルフ

- コントローラ A を最初のドライブシェルフの IOM A にケーブル接続します。
- 最初のドライブシェルフの IOM A を 2 番目のドライブシェルフの IOM A にケーブル接続します。
- 2 番目のドライブシェルフの IOM A を 3 番目のドライブシェルフの IOM A にケーブル接続します。
- コントローラ B を 3 台目のドライブシェルフの IOM B にケーブル接続します。
- 2 番目のドライブシェルフの IOM B を 3 番目のドライブシェルフの IOM B にケーブル接続します。
- 最初のドライブシェルフの IOM B を 2 番目のドライブシェルフの IOM B にケーブル接続します。

b. 例B: 標準SAS構成のDE212C/DE224ディスクシェルフ1台を備えたコントローラシェルフ

- コントローラ A を IOM A にケーブル接続します
- コントローラ B を IOM B にケーブル接続します

2. ドライブシェルフの電源を投入します。

次のケーブルが必要です。



• 電源ケーブル *



ドライブシェルフの電源スイッチがオフになっていることを確認する。

- 各シェルフの 2 本の電源ケーブルを、キャビネットまたはラック内の別々の配電ユニット（PDU）に接続します。
- ドライブシェルフがある場合は、最初に 2 つの電源スイッチをオンにします。2 分待ってからコントローラシェルフの電源をオンにします。
- コントローラシェルフの 2 つの電源スイッチをオンにします。
- 各コントローラの LED とデジタル表示ディスプレイを確認します。

ブート時に、デジタル表示ディスプレイの OS、SD、消灯の順に切り替わり、コントローラで一日の最初の処理が実行されていることが示されます。コントローラがブートすると、シェルフ ID が表示されます。

*例：電源接続はシェルフの背面にあります。



*

ストレージシステムのセットアップと設定の完了 - E5724、EF570、EF280、E2812、E2824、DE212C、DE224C

コントローラをネットワークに接続する方法と、ストレージシステムのセットアップと設定を実行する方法について説明します。

手順 1 : データホストをケーブル接続します

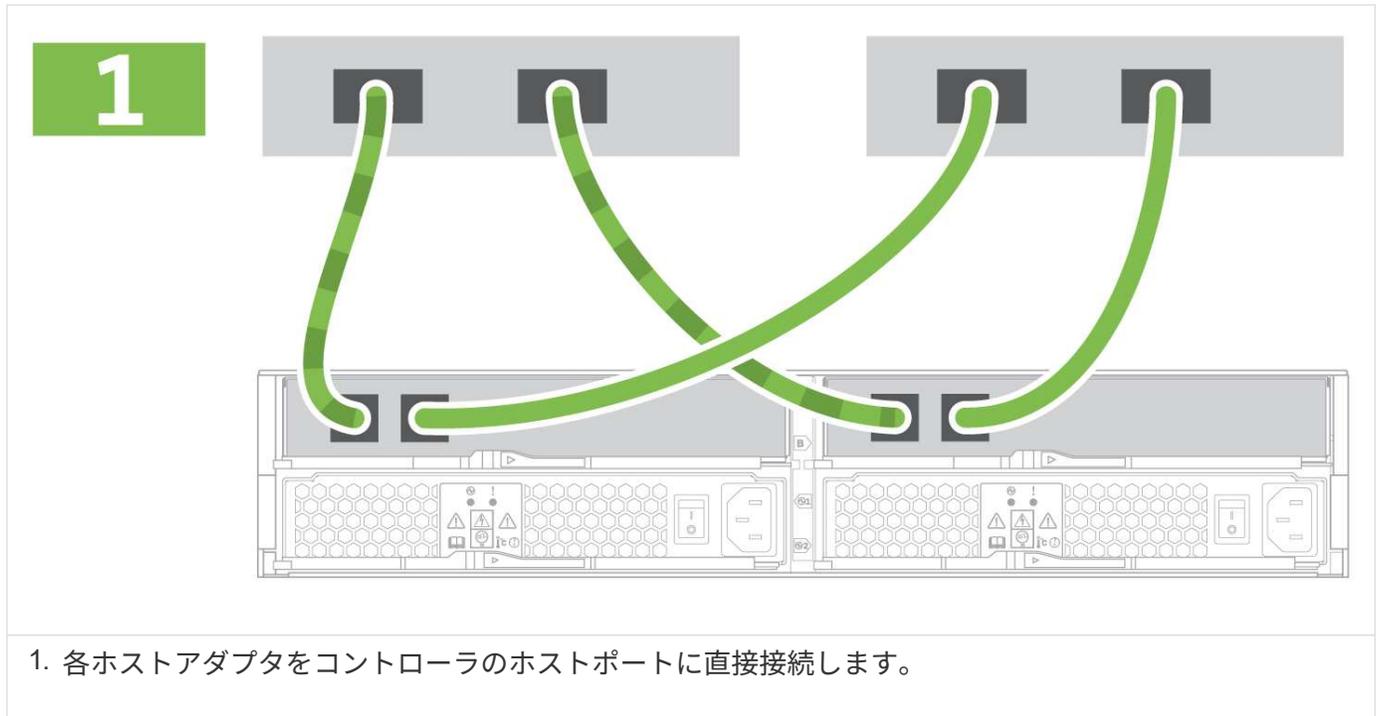
ネットワークトポロジに応じてシステムをケーブル接続します。



AIX® を使用している場合は、アレイに接続する前に、ホストに E シリーズマルチパスドライバをインストールする必要があります。

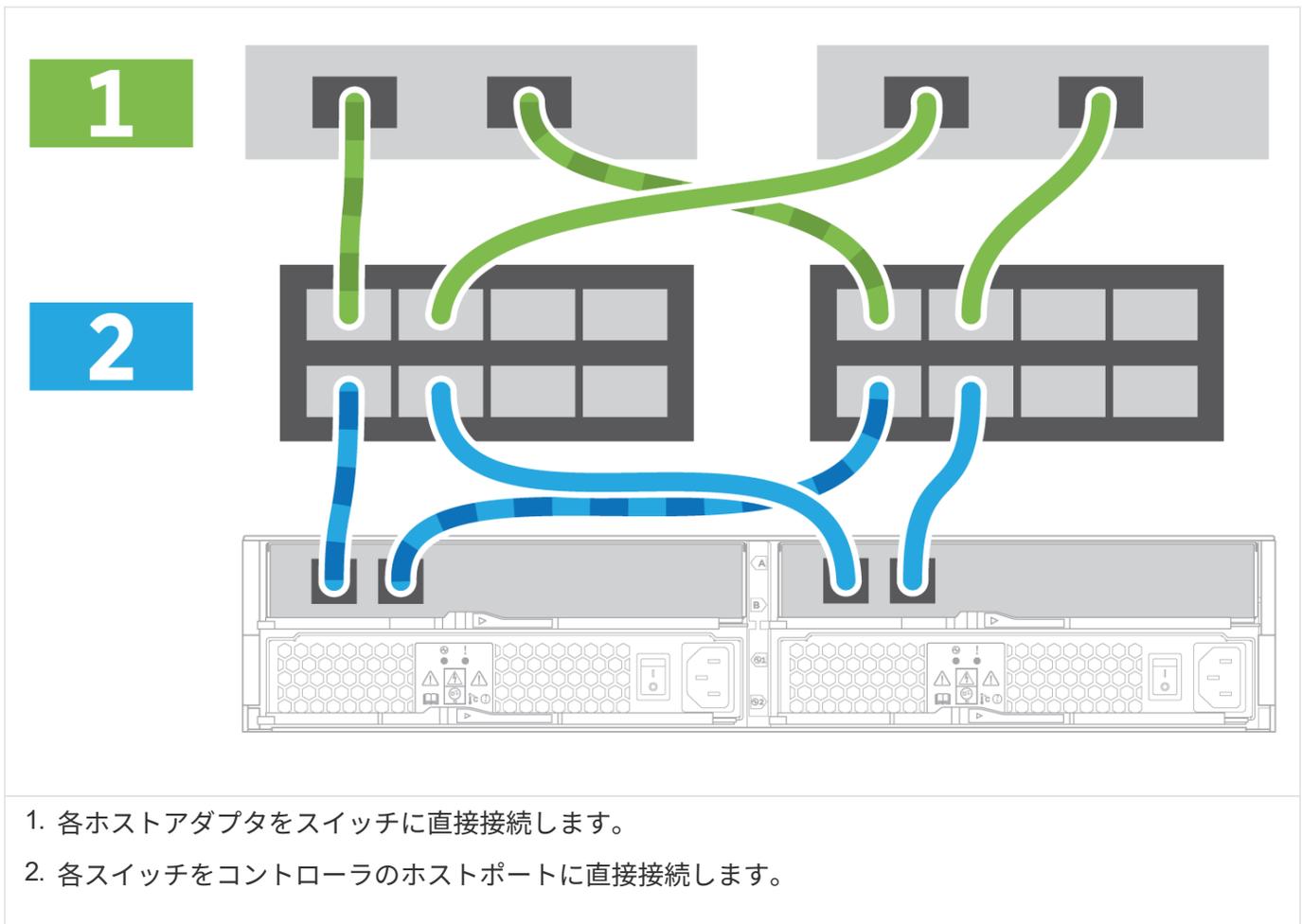
オプション 1 : 直接接続トポロジ

次の例は、直接接続トポロジを使用したデータホストへのケーブル接続を示しています。



オプション 2 : ファブリックトポロジ

次の例は、ファブリックトポロジを使用したデータホストへのケーブル接続を示しています。



手順 2：管理接続を接続して設定します

コントローラの管理ポートは、DHCP サーバまたは静的 IP アドレスのいずれかを使用して設定できます。

オプション 1：DHCP サーバ

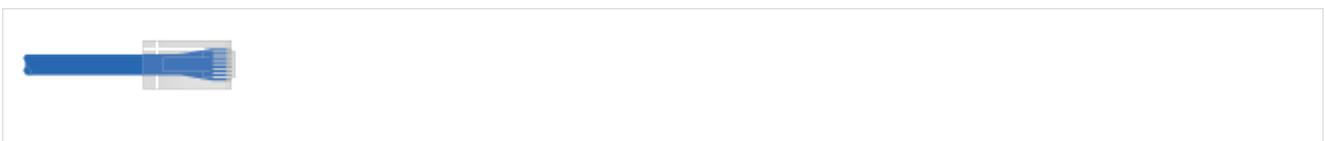
DHCP サーバを使用して管理ポートを設定する方法について説明します。

作業を開始する前に

- IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを各コントローラの永続的なリースとして関連付けるように DHCP サーバを設定します。
- ストレージシステムへの接続に使用する IP アドレスを、ネットワーク管理者から入手します。

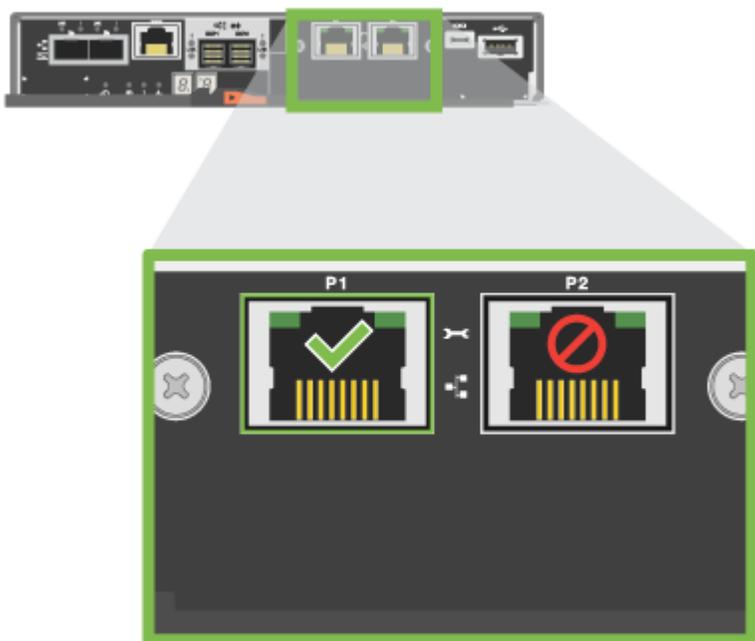
手順

1. 各コントローラの管理ポートにイーサネットケーブルを接続し、ケーブルのもう一方の端をネットワークに接続します。



イーサネットケーブル（発注した場合）

次の図は、コントローラの管理ポートの場所の例を示しています。



E2800 コントローラ P1 の管理ポート



E5700 コントローラ P1 の管理ポート

2. ブラウザを開き、ネットワーク管理者から入手したコントローラ IP アドレスのいずれかを使用してストレージシステムに接続します。

オプション 2：静的 IP アドレス

IP アドレスとサブネットマスクを入力して、管理ポートを手動で設定する方法について説明します。

作業を開始する前に

- コントローラの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス、および DNS サーバと NTP サーバの情報をネットワーク管理者から取得します。
- 使用しているラップトップが DHCP サーバからネットワーク設定を受信していないことを確認します。

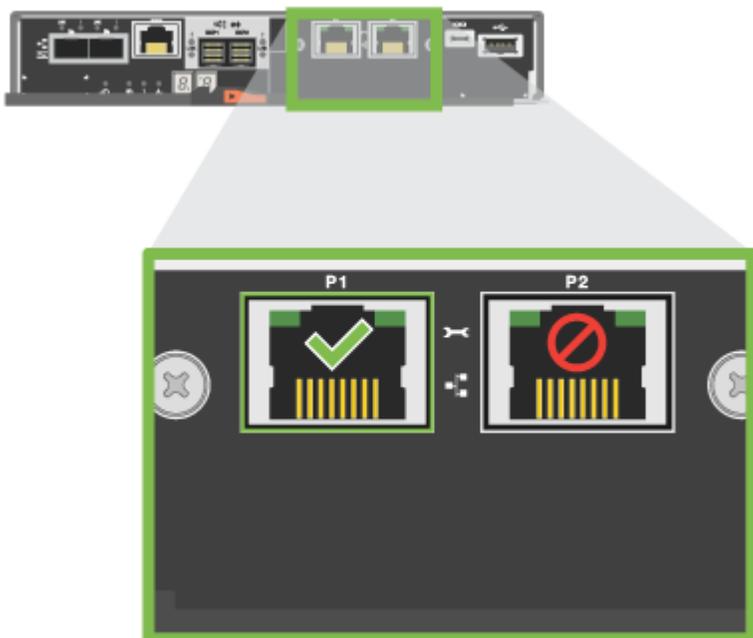
手順

1. コントローラ A の管理ポートとラップトップのイーサネットポートをイーサネットケーブルで接続します。



イーサネットケーブル（発注した場合）

次の図は、コントローラの管理ポートの場所の例を示しています。



E2800 コントローラ P1 の管理ポート



E5700 コントローラ P1 の管理ポート

2. ブラウザを開き、デフォルトの IP アドレス（169.254.128.101）を使用してコントローラへの接続を確立します。コントローラから自己署名証明書が返されます。接続がセキュアでないことを示すメッセージがブラウザに表示されます。



SANtricity 11.60以降を実行しているプラットフォームでは、デフォルトのサブネットマスクは255.255.0.0です。

3. ブラウザの指示に従って、SANtricity System Manager を起動します。



接続を確立できない場合は、DHCP サーバからネットワーク設定を受け取っていないことを確認してください。

4. ストレージシステムのパスワードを設定してログインします。
5. ネットワーク管理者から提供されたネットワーク設定を使用して、* ネットワーク設定 * ウィザードでコントローラ A のネットワーク設定を構成し、* 完了 * を選択します。



IP アドレスをリセットしたため、System Manager からコントローラへの接続は失われます。

6. ラップトップをストレージシステムから切断し、コントローラ A の管理ポートをネットワークに接続します。
7. ネットワークに接続されているコンピュータでブラウザを開き、コントローラ A の新しく設定された IP アドレスを入力します。



コントローラ A との接続が失われた場合は、コントローラ B にイーサネットケーブルを接続し、コントローラ B（169.254.128.102）を介してコントローラ A との接続を再確立できます。

8. 前の手順で設定したパスワードを使用してログインします。

ネットワーク設定ウィザードが表示されます。

9. ネットワーク管理者から提供されたネットワーク設定を使用して、* ネットワーク設定の構成 * ウィザードを実行し、コントローラ B のネットワーク設定を構成し、* 完了 * を選択します。

10. コントローラ B をネットワークに接続します。

11. コントローラ B の新しく設定された IP アドレスをブラウザに入力して、コントローラ B のネットワーク設定を確認します。



コントローラ B との接続が失われた場合は、前の手順で確認したコントローラ A への接続を使用し、コントローラ A を介してコントローラ B との接続を再確立できます。

手順 3：ストレージシステムを設定する

ハードウェアの設置が完了したら、SANtricity ソフトウェアを使用して、ストレージシステムを設定および管理します。

作業を開始する前に

- 管理ポートを設定します。
- パスワードと IP アドレスを確認して記録します。

手順

1. SANtricity ソフトウェアを使用して、ストレージアレイを設定および管理します。
2. 最もシンプルなネットワーク構成では、コントローラを Web ブラウザに接続し、SANtricity System Manager を使用して E2800 シリーズまたは E5700 シリーズの単一のストレージアレイを管理します。



System Manager にアクセスするには、管理ポートの設定に使用した IP アドレスを使用します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。